

特別史跡 三内丸山遺跡

(読み方) とくべつしせき さんないまるやまいせき

(英語) Sannai Maruyama Site

【所在地】

青森県青森市三内

【年代】

紀元前 3,900 年～紀元前 2,200 年 (約 5,900～4,200 年前)

【キャッチコピー】

多様な施設で構成される大規模な拠点集落

【説明文：102字】

竪穴建物、掘立柱建物、墓、貯蔵穴、祭祀場である盛土や捨て場などからなる大規模な拠点集落。膨大な土器や石器、日本最多の 2000 点を超える土偶、動植物遺体などが出土し、当時の生業や祭祀・儀礼を具体的に伝える。

【説明文：155字】

陸奥湾をのぞむ段丘上に立地する大規模な拠点集落。集落は、竪穴建物、墓、貯蔵穴、掘立柱建物、盛土など多様な施設で構成される。膨大な土器や石器、日本最多の 2000 点を超える土偶などの祭祀遺物、多種多様な動物骨や魚骨、クリやクルミなどの堅果類などから、内湾地域における生業と祭祀・儀礼の多様性を示す重要な遺跡である。

【説明文：249字】

陸奥湾をのぞむ段丘上に立地する大規模な拠点集落。集落には、竪穴建物や大型竪穴建物からなる居住域、列状に配置された墓による墓域、貯蔵穴、掘立柱建物、捨て場や盛土などが配置されている。盛土からは、土偶やミニチュア土器などの祭祀用の道具が多数出土し、祭祀・儀礼が継続して行われていたことを示す。また、石鏃や石槍などの狩猟具、釣針や銚などの漁労具、木の実をすりつぶす石皿やすり石、多種多様な魚骨や動物骨、クリ・クルミなどの堅果類などから、通年にわたり自然資源を巧みに利用していたことを示す重要な遺跡である。